

デモンストレーションのご案内

「ダイレクトコミュニケーション」活発化によるオフィスの知的生産性向上

「ダイレクトコミュニケーション（対話型の情報交換）が知的生産に決定的役割を果たす」このことは、知的生産に関わる研究や、高い成果を上げた人材の調査から明らかです。

弊社は、ダイレクトコミュニケーション（以下**DC**）を活発化し、知的生産性を高めるオフィス作りを支援しています。DCのパワーを知っていただくためのデモンストレーションを実施しています。お気軽にお申し込み下さい。

DC活発化によって、なぜ知的生産性が高まるのか・・・

1. DCが活発化すると、「価値ある会話」が、そこかしこで発生します。この会話では、相手が驚く、相手に貢献する話が喜ばれます。そこで社員一人ひとりが、会話の準備として、日ごろの気付きを基に新たな知見を創造する努力を始めます。その結果、一人ひとりの気付き力が高まり、他者の気付いた知見を獲得し、セレンディピティーが高まります。
2. DCの活発化で、他者への建設的批判、惜しげのない助言、躊躇なくそれらに晒されることが日常化します。また、社内他部門や社外キーマンに躊躇無く会いに行き、知恵を借りる行動力が醸成されます。結果として、衆知結集による創造・ブレイクスルーが推進されます。
3. DCの中で、互いのノウハウを交換させることができます。これによって、自分の持っているノウハウを自覚し積極的に実践し、また、他人のノウハウを獲得し、社員の知的生産性を高め合うことができます。

デモンストレーションのご案内（デモに費用はかかりません）

1. ナレッジ拡充会議

貴社で、複数部門のマネージャー3人～5人に集まっていただき、弊社のファシリテーションによって、価値ある情報を引き出し共有します。2時間～3時間で遂行します。

これによって、分野が異なる人材の間で、DCによって互いを刺激し、知的生産性を高める、価値ある情報を効果的に交換ができることを実証します。

デモ結果は、「効果を上げる方策と実践事例」にまとめ、後日提出します。

2. ハイパフォーマーのノウハウ体系化と共有

貴社のハイパフォーマー1人～2人に集まっていただき、弊社でノウハウを抽出し、その場で体系化します。1人あたり1.5時間～2時間で遂行します。

これによって、ハイパフォーマーにはハイパフォーマンスをあげるためのノウハウがあること。ノウハウは体系化し、説明・共有できることを実証します。

デモで抽出した情報は、「ノウハウ定義書」にまとめ、後日提出します。

お問い合わせ

・株式会社アクト・コンサルティング 野間 noma@act-consulting.co.jp 03-5715-0107